

シルバーカー

アルミカー ハーモニーAL

〔取扱説明書〕 〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
⚠️ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません) 使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し、購入されることをお勧めします。なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解された上、ご使用ください。

目 次

警告事項	1	ハンドブレーキの操作方法	5
注意事項	1~2	ブレーキの調整方法	5
各部の名称	3	腰の掛け方	6
車体のひろげ方	4	傘止めバンドの使い方	6
車体の折りたたみ方	4	故障かなと思ったら	6
ハンドルの高さ調節	4	保証書	7
駐車用ストッパの操作方法	5	SGマーク	7
キャスターの操作方法	5		

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身で使用できるかご判断ください。

加齢等によって歩行機能が低下し、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車・バス・電車・エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨・雪・凍結等、滑りやすい所では使用しないでください。
- 交通の頻繁な所、混雑している所、及び夜間に使用される際は、十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので、十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機の音が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと、横断されることをお薦めします。
- 車体の組み立て及び、調整は確実に行ってください。
- 使用される前に、必ず左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認をしてください。固定用ロックがかかっていると、車体が折りたたまれ、大変危険です。
- 車体を片手で押して、使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか、確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体だけが前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台として使用しないでください。
- 坂道などの斜面では、座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパペダルを使い、左右両輪に駐車用ストッパをかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届く所に放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検(特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、車輪及びブレーキ金具の摩耗、車体を押したときのグラつき)をして、調整は確実に行ってください。

※使用時

- 最大使用者体重は 80kg です。(ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります)
- カゴの載荷重は 20kg です。(20kg を超える荷物は載せないでください)
- カゴと小袋以外の所に荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をカゴ、小袋に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には、乳幼児や子供を近づけないでください。
- カゴに荷物を入れたまま、車体の組み立てや折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま、ブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので、過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で、車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、指を挟まないように注意してください。
- 車体から離れるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。
- 火気の近くでは使用しないでください。(樹脂が変形し、性能を維持できなくなります)
- 砂・泥のある所、特に水たまりでは使用や放置しないでください。
- 用途以外には使用しないでください。

※使用後(保管・お手入れ)

- 火気の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、車体・小袋を拭かないでください。
- 小袋の汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- フレームや車輪が砂や泥などで汚れた場合は、そのまま放置せずに、必ず汚れを拭き取ってください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、日陰で保管してください。
- 寒暖の差が激しい所での保管は、小袋の変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、車体の組み立て、回転及び、折りたたみ操作を 2～3 回繰り返してください。
- 非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- 定期的に各部(車輪及びブレーキなど)の破損、緩み、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋・ネジなどが緩んでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

使用時サイズ：約 H83 ~ 91×W46×①D54・②53 cm

収納時サイズ：約 H91×W46×①D31・②30 cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

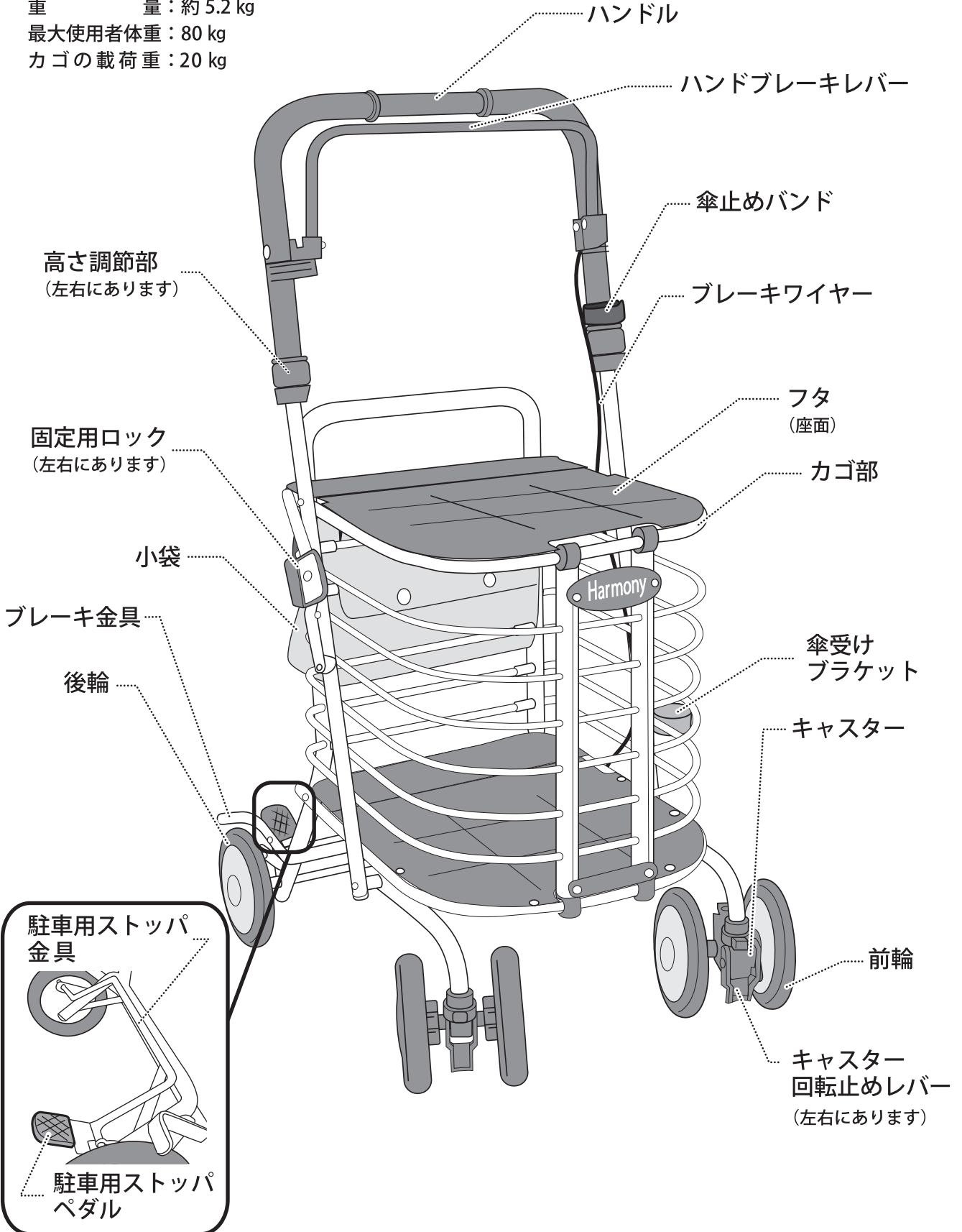
(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ：約 49 cm

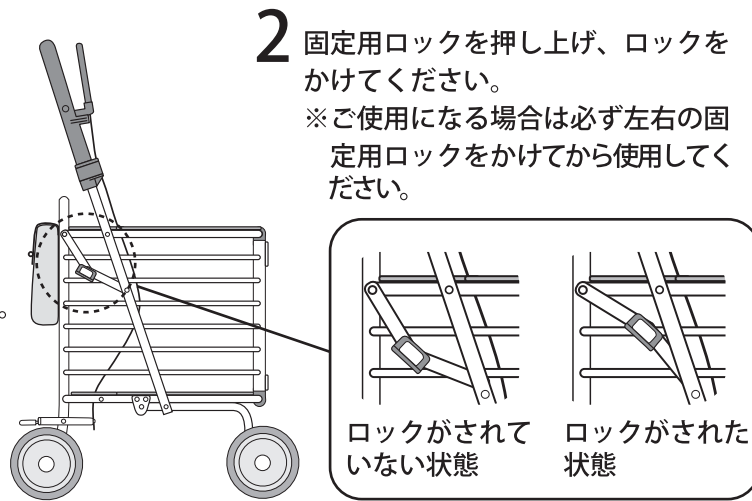
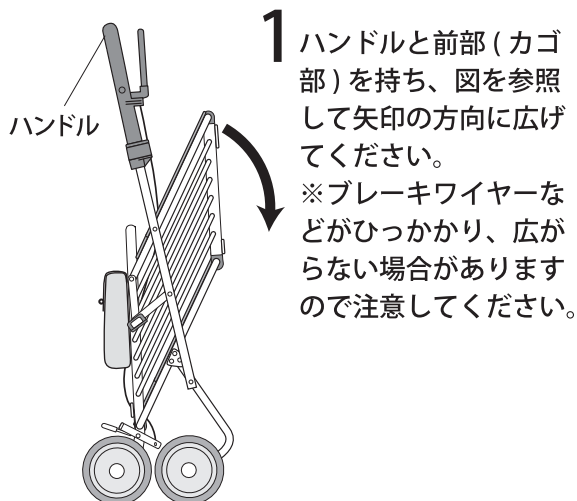
重量：約 5.2 kg

最大使用者体重：80 kg

カゴの載荷重：20 kg

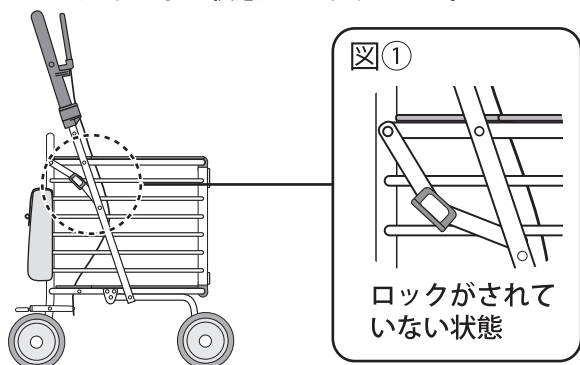


車体のひろげ方

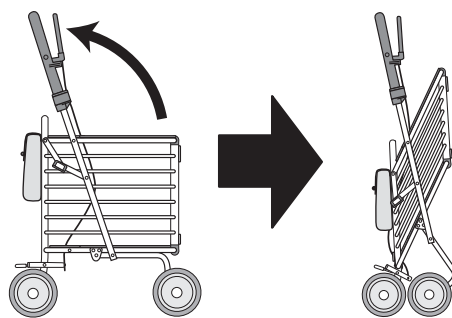


車体の折りたたみ方

1 固定用ロックを図①を参照し、ロックがされていない状態にしてください。



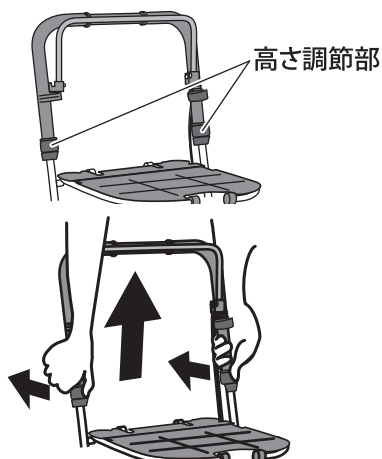
2 ハンドルと前部(カゴ部)を持ち、内側に挟み込むように折りたたみます。



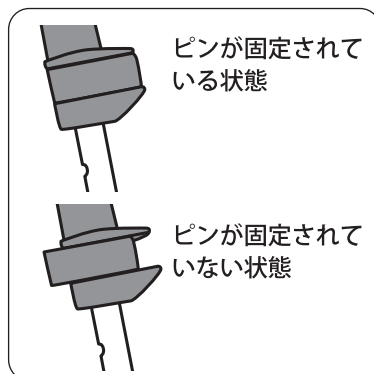
- 注**
- 物を入れたまま折りたたまないでください。
 - 折りたたむときは指を挟む危険がありますので、注意してください。

ハンドルの高さ調節

1 左右の高さ調節部を親指で押さえると、ハンドルが上下に動かせます。高さ調節部分を親指で押さえながら、3段階の高さ調節からお好みの高さに合わせて、親指を離します。

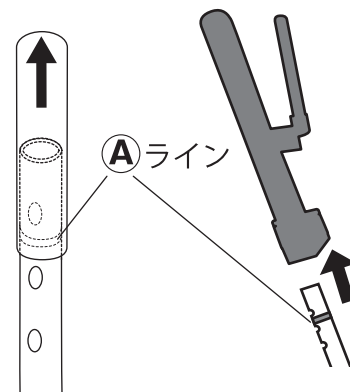


2 ピンが左右両方の穴に、しっかりと入り、固定されているか確認し、左右が同じ高さであることを確認してください。

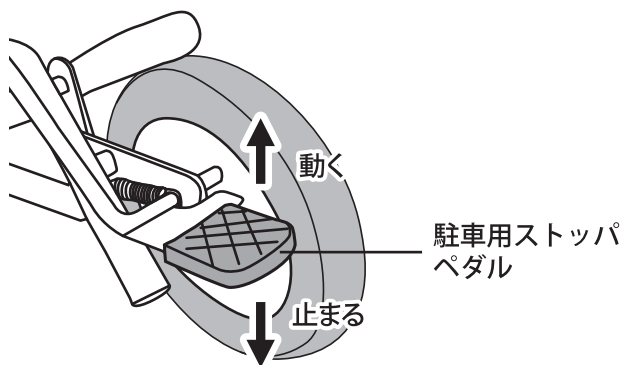


※高さ調節の仕組みは、フレームの後ろに空いている穴にピンが入り、固定される仕組みです。

- 注**
- 内側のパイプにある(A)のラインが見える位置までハンドルの高さ設定をしないでください。
 - ハンドル部とフレームが外れてしまいます。



駐車用ストッパの操作方法



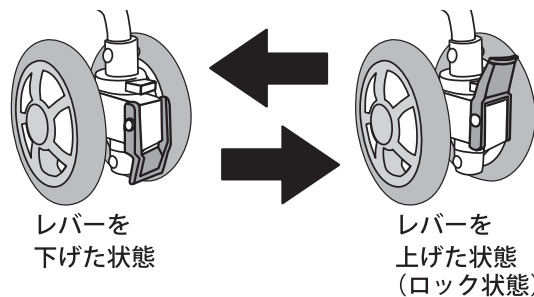
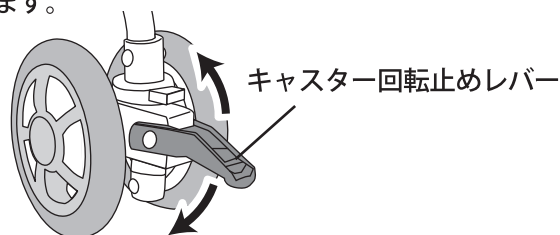
- 駐車用ストッパペダルを下に下げると、後輪がロックされます。
- 駐車用ストッパペダルを上にあげると、ロックが解除されます。

注

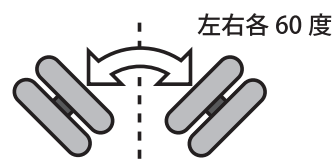
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
- 車体から離れる場合は、必ずストッパをかけてください。
- 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので坂道などでは腰をかけないでください。
- ペダルを踏まれるときは、身体のバランスを崩さないように十分注意してください。

キャストの操作方法

キャスト回転止めレバーを下げると、曲る方向に力を入れれば左右各 60 度の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。
キャスト回転止めレバーを上げるとロックされます。

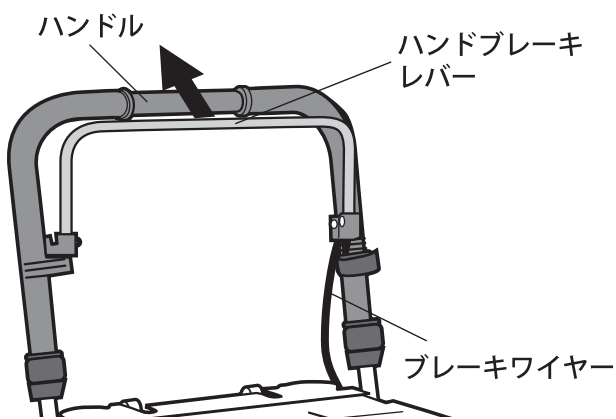


- キャスト回転止めレバーが左右同じ状態か確認してください。



ハンドブレーキの操作方法

ハンドブレーキレバーを握れば、後輪にブレーキがかかります。

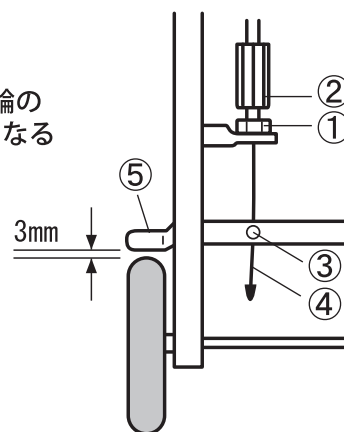


注

- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのように利かないので、過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキが利きにくくなりますので、ブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

ブレーキ金具と車輪のすき間が 3mm 位になるように調整します。



■ブレーキをきつにする

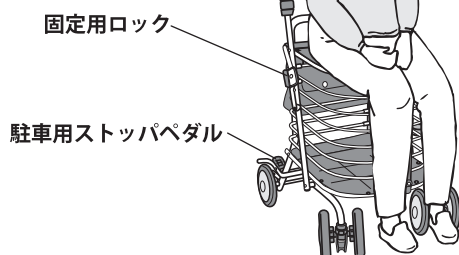
- ②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。
- なお不十分なときは、②を最初の状態に戻し、③を緩めてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

■ブレーキを緩くする

- ①を緩めてください。
- ②を回して調整してください。
- 調整が終われば①を締めてください。

腰の掛け方

腰を掛けるときは、駐車用ストッパをかけ、(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照)座面を下ろして、体重が均等に加わるように座面中央にお座りください。

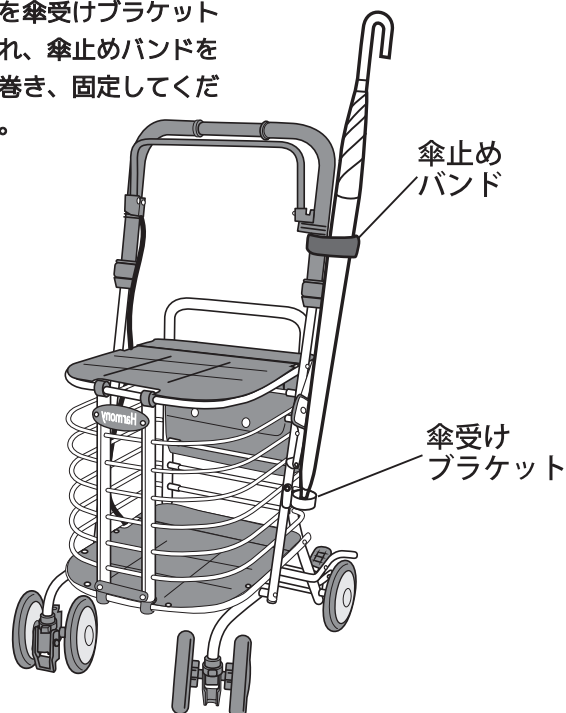


注

- 両側の固定用ロックが正常にかかっているか確認してお座りください。(P.4 車体のひろげ方参照)
- 必ず駐車用ストッパをかけてからお座りください。(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照)
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがありますので、ご注意ください。
- 坂道など、斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。(体重が 80kg を超えられる方はご使用になれません)

傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き、固定してください。



故障かなと思ったら・・・

状況	原因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	①固定用ロックがかかっていない ②ハンドルの高さ調節部が固定されていない	①両側の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください ②取扱説明書の ハンドルの高さ調節 をお読みになり、確実に高さ調節を行ってください。
駐車用ストッパが利かない	①駐車用ストッパ金具の曲がり ②バネの劣化 ③車輪の破損 ④連結部のサビ	①駐車用ストッパ金具の交換 ②バネの交換 ③車輪の交換 ④潤滑油を注油する
ハンドブレーキが利かない	①車輪の摩耗 ②ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①車輪の交換 ②ブレーキワイヤーの交換
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスターを手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②バネの交換
固定用ロックがかからない	①固定用ロック部の変形 ②車体の歪み	ご購入販売店に製品の点検、修理、パーツ交換を依頼してください

その他、車輪や車体の破損・異常が発生した場合、そのままご使用せずに、ご購入販売店に点検、修理、パーツの交換を依頼してください。

※製品改良のため、仕様・外観は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

MADE IN VIETNAM 30.10



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書